

東京滝川会だより

第 73 号

令和 3 年 3 月発行

〈事務局〉

滝川市大町 1 丁目 2 番 15 号
滝川市産業振興部産業振興課
TEL 0125-28-8009 FAX 0125-23-5839
E-mail syoukou@city.takikawa.lg.jp
URL <http://www.city.takikawa.hokkaido.jp>

～ご挨拶～



滝川から「春」が届きます
—ご挨拶に代えて—

東京滝川会会長
加藤 晃章

辛抱強く冬を生き抜いた草花たちが、蓄えた力を解き放つときを待っています。会員の皆様は、どのようにこの春を迎えられていますか。

年度初めに企画していた本会の諸活動は、新型コロナウイルスで次々と中止となってしまいました。そんな中、会員の皆様とのコミュニケーションを図るために、何かできないかと、三役・理事会で侃々諤々の議論の上、本年度の会費の免除と、これまでの繰越金を使い滝川市の名産品をご自宅にお届けする、「還元事業」を提案し総会で決定いただきました。企画にあたっては、滝川市内の事業者様に格安で商品をご提供いただきました。限られた予算で、「少しでも故郷のためになれば・・・」という思いもあったのですが、逆に滝川の皆様が、私どもを励まして下さった形になり恐縮しております。また、企画実現にあたっては、前田市長をはじめ市の職員の皆様に多大なご尽力いただいたことに、心から感謝申し上げます。

まもなく滝川からご自宅にななつぼしと地野菜のセットが直送されます。なかなか帰省もままなりません、どうぞご家族と共に故郷を思い出しながら、ご賞味いただければ幸いです。

ワクチンの接種も始まり、少しずつコロナは終息に向かっていますが、まだ油断は禁物です。会員の皆様におかれましては、くれぐれも健康に留意され、笑顔で再会できますことを、心待ちにしております。



東京滝川会の開催を願って

滝川市長
前田 康吉

東京滝川会加藤会長はじめ、会員の皆様におかれましては、緊急事態宣言下における首都圏において、日々大変な思いをなされていることと拝察いたします。国による新型コロナウイルスに対するワクチン接種も始まったことで、この感染症の猛威が収まり、穏やかな日常が取り戻されることを願っております。

さて、この度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、皆様が楽しみにされていた懇親会や会員家族交流会が中止となり、私も皆様にお会いすることを心待ちにしておりましたので、非常に残念に思っております。しかしながら、代替事業として、滝川の商品を会員の皆様にお送りすると聞き、少しでもふるさと滝川を感じていただければ幸いです。

滝川市においては、国の交付金を活用しながら、さまざまなコロナ対策事業を実施しております。また、2月にはワクチン接種実施本部を設置し、ワクチンが供給された際にスムーズに接種を開始できるよう準備を進めております。今後においても、コロナ対策を最優先に取り組み、市民の皆様とともにこの難局を乗り越えていく所存です。

新型コロナウイルスが収束に向かい、東京オリンピック・パラリンピックも開催され、落ち着きを取り戻したころに、皆様と一献傾けることを願いつつ、会報に寄せるご挨拶といたします。会員の皆様におかれましては、健康にご留意され、ふるさと滝川の応援団として引き続きご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

滝川工業高等学校が創立100周年を迎えました！

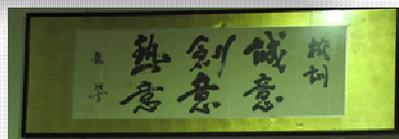
滝川工業高等学校は、大正9年に北海道庁立滝川中学校として創立しました。昭和26年工業課程設置、昭和29年に普通科を滝川高校へ移管し北海道滝川工業高等学校となり、令和2年に100周年を迎えました。

100年の歴史の中で、新たな学科や定時制課程の設置、学科転換などを経て、現在は「電子機械科」と「電気科」の全日制2学科6クラス合計144名の生徒が勉学に励んでいます。

現在は空知管内唯一、全道一小さな工業高校ではありますが、「高校生ものづくりコンテスト」や「ロボット相撲大会」で全国大会に出場したほか、地域に根差した活動として「修理屋さん」や「おもちゃの病院」、「小学生ものづくり教室」等を積極的に行っています。



第二代校舎
(昭和37年竣工)



現在の校訓



令和2年10月24日、規模を縮小して
記念式典が執り行われました。



現校舎
(平成9年竣工)

工業高校卒業生である本会役員より寄稿文をいただきました

「滝川工業高校の思い出」

東京滝川会副会長 栗原 茂実 (昭和45年電気科卒業)

昭和42年4月に電気科に入学しました。当時は、機械科2クラス、電気科、土木科、化学科の5クラス200名で全校生徒600名でした。本館は鉄筋コンクリート3階建てでしたが実習室は木造で冬の実習は屋根の雪下ろしが多かったように記憶しています。男子校状態で(女子2名)自由な校風で学校行事も多く楽しい思い出がいっぱいです。特に競歩大会(30キロ)は滝工の名物行事でした。地獄でしたね(笑)

クラブ活動も盛んで、当時はボクシング部が全道でもトップクラスでした。私は3年間バレー部で、就職した会社でも続け、現在もその時のメンバーと時々プレーをしています。

私にとって滝工の3年間は本当に素晴らしい青春でした。帰省した時には必ず新しい校舎を見に行き当時を思い出しています。



左から2番目



「在学中の思い出」

東京滝川会理事 大久保 朋彦 (平成6年土木科卒業)

この度は、北海道滝川工業高等学校創立100周年を迎えられた事を心よりお祝い申し上げます。

私は、平成3年から平成6年までの3年間、土木科に在籍しておりました。当時の校舎は古い鉄筋コンクリート造で、平面的にとっても広く、移動するだけで結構な時間がかかっていました。春から夏にかけてグラウンドや近くの滝の川公園で測量実習を行ったり、コンクリートを練って平板を作り、学校祭で市民の皆様にご安で販売したり、今思えばとても懐かしく思います。当時の一大行事、秋に行われる競歩大会は膝や足が痛くなりタイヤしそうになりましたが当時の先生方やクラスの仲間たちの励ましで無事30km完歩することができた事を覚えています。

コロナ禍で、今までの生活スタイル等大きな変化が生じています。それらに対応しつつも、滝川工業高等学校の卒業生として誇りを持ち、今後も精進していきたいと思っております。

末筆ながら皆様方のご活躍をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



日本初！「病気とたたかう子どもたちのための自然体験施設」

そらぶちキッズキャンプ

そらぶちキッズキャンプとは...

日本国内に約20万人いるといわれている小児がんや心臓病などの難病とたたかう子どもたち。「そらぶちキッズキャンプ」では医療施設を完備し、特別に配慮されたキャンプ施設や自然体験プログラムを設け、子どもたちやご家族がここで過ごしている間だけでも病気のことを忘れ、自然の中で思い切り遊んでもらいたいと思っています。そして「楽しい思い出」「すばらしい仲間」「生きる力」「希望」を得ることができる場所を目指しています。



野菜の収穫体験!



2021年冬の取り組み

「スノーギフト」をご紹介します!

「真剣に楽しむ(シリアスファン)プロジェクト」として、雪の積もらない地域にある小児病院や施設の子どもたちを対象に、キャンプ場の雪をプレゼントしました。

届いた雪で雪だるまを作って北海道の冬を楽しんでもらい、さらにその雪だるまと一緒に撮影した子どもたちの笑顔をそらぶちキッズキャンプのホームページで公開する予定です。

※この取り組みは、令和3年2月19日をもってまして申込受付を終了しました。

子どもたちへ雪のプレゼント!



鹿児島子どもクリニックに雪が届いたよ!



乗馬にチャレンジ!

そらぶちキッズキャンプを応援できます

そらぶちキッズキャンプの継続的な支援者であるドラッグストア「ウエルシアグループ」と「山崎製パン株式会社」が、そらぶちキッズキャンプをより多くの方々に知ってもらうため、「そらぶちチャリティ菓子パン」の製造・販売を行っています! チャリティパン1袋ご購入につき、1円がそらぶちキッズキャンプへ寄付されますので、ぜひ応援下さいませようお願いします。

販売期間: 2021年2月~3月

販売場所: 全国のウエルシアグループ・ドラッグストア
店舗 (関東圏~ウエルシア、ハックドラッグ、マルエドラッグ等)



北海道産の牛乳を使用した「シューロール」



北海道産のコーンを使った「コーンのパン」



北海道産の粒あんを包んだ「つぶあんデニッシュ」

公益財団法人そらぶちキッズキャンプ
〒079-0461 北海道滝川市江部乙町丸加高原4264-1
ホームページ: <http://www.solaputi.jp/>
TEL: 0125-75-3200 FAX: 0125-75-3211

令和2年度滝川市 旬の話題集めました！



タイムカプセルを
開封します

滝川開村 130年！



生まれ変わった擁壁



明治23(1890)年、「空知太」と呼ばれる石狩川と空知川の合流地点を中心とした地域に「滝川村」が設置されてから130年を迎えました。開村130年を記念して、平成4(1992)年に東2号通の擁壁に描かれた「たきかわ夢絵巻」が、滝川ロータリークラブと滝川美術協会の協力により色彩豊かな「滝川の四季」に生まれ変わりました。

また、平成2(1990)年に開村100年と、滝川市と砂川市をつなぐ国道12号バイパス「新空知大橋」の完成を記念して、橋のもとに設置されたタイムカプセルも開封されました。カプセルの中には、当時の子どもたちが記した将来の夢や、30年後の未来が描かれた絵などが収められていました。現在、滝川市では大人になった持ち主へ、大切な思い出の品をご返却しております。

道の駅リニューアル！

平成12年にオープンした「道の駅たきかわ」。令和2年4月に運営主体が滝川地方卸売市場株式会社となり、リニューアルされました。

売店コーナーが拡大し、滝川市や近隣の物産、特産品など品揃えが豊富になったことに加え、近隣の生産者約80軒が加入する「絆の会」が発足し、たくさんの農産物が、新鮮なうちに売り場に並んでいます。



絆の会のメンバー

滝川産の野菜や果物を使用したジェラート



新鮮な野菜！

8月にはレストランもリニューアルし、滝川産のあいがもや地場産野菜を使用した、ここでしか食べられないメニューを多くご用意しました。

新たな取り組みを続ける道の駅たきかわ、帰省の際にはぜひお立ち寄りください。



江部乙駅が カフェに変身！？



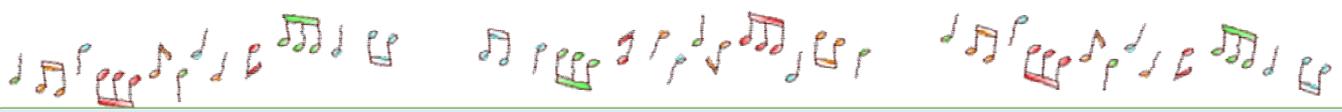
明治31年 「江部乙駅」開業
昭和62年 JR北海道に移管
平成15年 無人駅となる



無人駅の「JR江部乙駅」では平成27年に、地域住民で結成したまちづくりグループ「江部乙まちづくり行動隊」と國學院大學北海道短期大学の榊井ゼミが清掃・美化活動を実施しました。そしてきれいになった駅舎を活用し、「江部乙を元気にしたい！」という女性たちで結成された江部乙まちづくり行動隊女子部が「駅カフェ」を開始しました。

「駅カフェ」では、毎月1回江部乙駅の待合室を活用し、誰もが気軽に集い、コーヒーを飲みながら、地元住民による演奏や手品などのステージを楽しむことができます。特に、認知症ケアなども行っていることから高齢者の居場所として定着し、毎回70～80名の方が参加されています。たくさんのお子様たちや赤ちゃん連れのご家族との交流もあり、地域住民が年齢を問わず安心して集うことができる、活気にあふれる交流の場となっています。

◆詳細やその他の出来事については滝川市公式ホームページよりご覧ください。
「滝川市 広報」で検索！（過去2年分の広報たきかわの閲覧が可能です。）



オーボエ奏者 岩崎弘昌さんによる校歌プロジェクト始動！！

滝川市ご出身で、札幌を中心に活動するアンサンブルグループ奏楽(そら)のオーボエ奏者である岩崎弘昌さんが令和2年10月より「校歌プロジェクト」に取り組んでいます。

このプロジェクトは、コロナ禍の中、音楽の授業で歌うことができず、歴史ある各学校の校歌を正しく知る機会が減っている子どもたちのために、奏楽のメンバーが演奏した校歌を収録したCD・DVDを全児童・生徒に寄贈し、郷土愛と豊かな心をはぐくむための活動です。

平成24年閉校の東栄小学校を含む滝川市内の小中高校全14校をはじめ、北海道の学校を対象にプロジェクトを行っています。



< CD収録内容 >

- 1. 校歌 (歌唱あり)
- 2. 校歌 (伴奏のみ)

< DVD収録内容 >

- 1. 校歌 (歌唱あり)
- 2. 校歌 (伴奏のみ)

映像は校舎の写真や、演奏者、歌手による演奏風景が収録されています。

各校校歌の演奏が収められたCD,DVDは

購入することもできます

購入をご希望の方は、下記事務局に、希望する学校名、枚数とお届け先ご住所をご入力の上、メールでご連絡をお願いいたします。製品をお送りする際にお振込先を同封いたします。

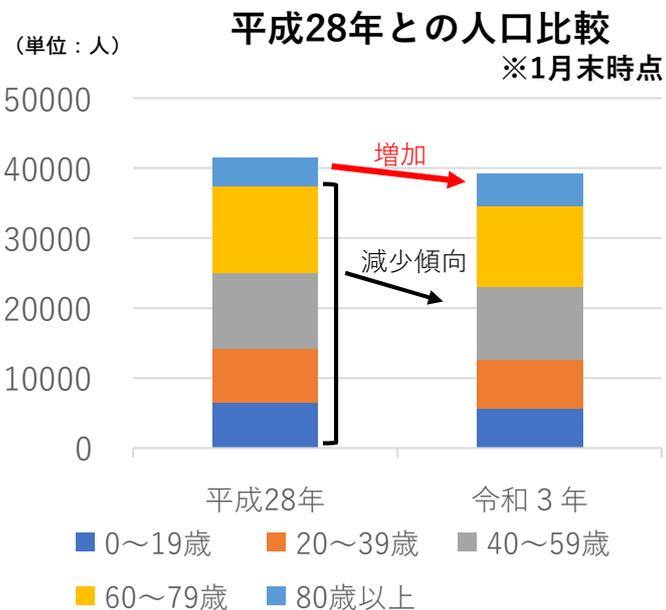
CD・DVD各1枚入り1セット500円(送料込)での販売となります。ご不明点などございましたら奏楽事務局までお問い合わせください。

【奏楽事務局お問合せ先】

TEL : 070 - 5611 - 9464

E-mail : sora-i-2008@mail.goo.ne.jp

～グラフでみる滝川市～



総人口は5年前と比べて減少傾向にある一方で、80歳以上の人口は約600人増加しました。

国立社会保障・人口問題研究所による人口推計では、さらなる人口減少が見込まれていますが、滝川市においては、人口減少を防ぐ対策を講じ、住みやすいまちづくりの実現に向け努力を続けています。

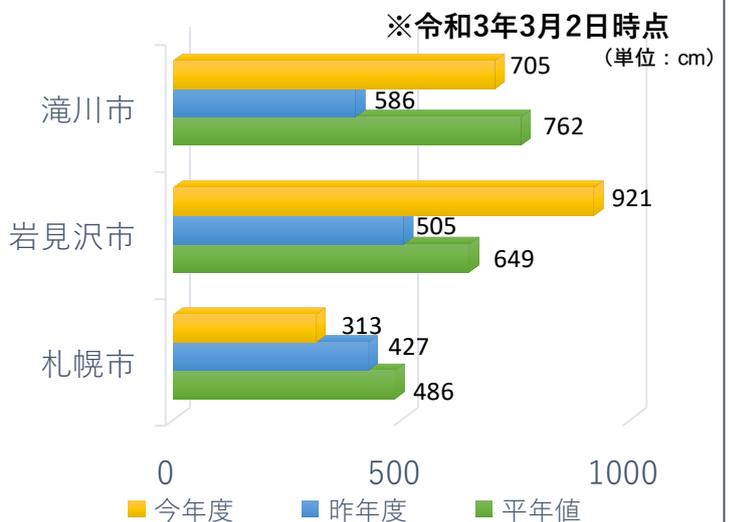
現在の総人口

39,225人

(平成28年41,530人)



北海道他市町村との積雪量の比較



今年度は昨年より3日早い11月10日に初雪が観測されました。3月に入っても、猛吹雪のため1日で44cmの積雪となる日もあり、冬が終わるころには過去5年平均とほぼ同等の積雪となる見込みです。

日本は、国土面積の51%が豪雪地帯に指定されるほどの雪国で、世界の降雪量ランキングの上位に北海道の政令市である札幌市が入ります。しかし、今年は観測史上2番目の積雪量205cmを記録し、度々ニュースになった岩見沢市に加え滝川市は札幌市の降雪量を大きく上回っています。滝川市でも学校の休校、一部地域でごみ収集の中止などが発生する事態となりました。



池の前水上公園に キャンプ場がオープン!



令和2年4月、滝川ふれ愛の里に隣接する池の前水上公園に新たにキャンプ場がオープンしました。

テントを持ち込めるベーシックな「フリーキャンプ」はもちろん、テントやテーブル、BBQセットなどが揃い、事前準備が何もいらない「手ぶらキャンプセット」もご利用いただけます。それをさらにグレードアップ

させたものが、「グランピング」(下部写真)です。手ぶらキャンプセットの内容に加え、広く開放感のあるテント内にベッドやソファなどが設置されており、滝川の豊かな自然を感じつつ、まるでコテージの一室にいるかのような快適なキャンプをお楽しみいただけます。

「グランピング」とは...「グラマラス」と「キャンプ」を掛け合わせた造語で、テント設営や食事の準備から旅行者を開放した、「良い所取りの自然体験」を意味します。



ペットの同伴も可能です!
※フリーテントの一部区画のみ



詳細は「まるごとそらち」で検索!

近くで楽しめるアクティビティ

カヌー



グライダー



ANAのパッケージツアーもご利用いただけます。「そらキャン」で検索!

温泉



パークゴルフ



【新規会員様を募集しています】

東京滝川会では新規会員を随時募集しています! 首都圏在住で滝川市に関わりのある方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください!

【事務局】

滝川市大町1丁目2番15号
滝川市産業振興部産業振興課内
TEL: 0125-28-8009
FAX: 0125-23-5839
E-mail: syoukou@city.takikawa.lg.jp
URL: <http://www.city.takikawa.hokkaido.jp>



【新規会員様のご紹介】

令和2年9月以降にご入会いただいた
会員様をご紹介します。

千葉県在住 田中 幸弘 様

※会員数 173名 (令和3年2月末時点)



滝川市ではFacebook、LINE、Instagramで最新情報を発信しています。

Facebook: 滝川市役所
LINE: @takikawa_line

Instagram: takikawa_mayor_maeda_official